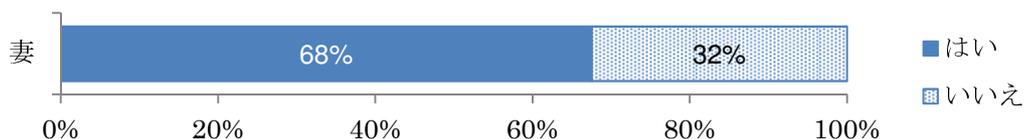


2 妻のみ不妊検査を受けている夫婦の妻の意識

(1) パートナーの協力についての意識

不妊検査を受けていなくても、夫が協力的と考えている妻が7割と多数派となった。

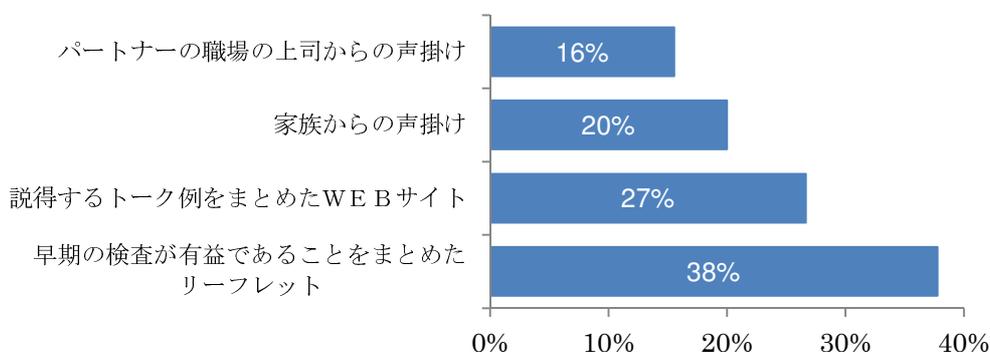
<表10：パートナーは不妊治療について理解がある、または協力的だ>



(2) パートナーの理解を得るために有効なコンテンツ

リーフレットなど可視化した紙媒体が有効との意見が最も多かった。

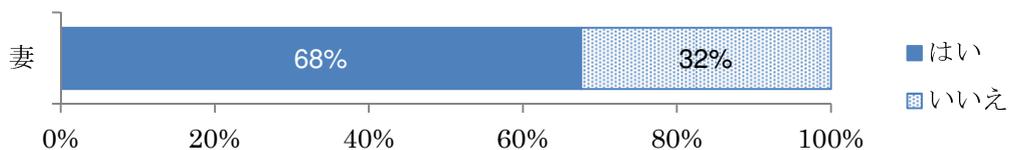
<表11：パートナーの理解を得るためにあったらいいと思うもの（複数回答）>



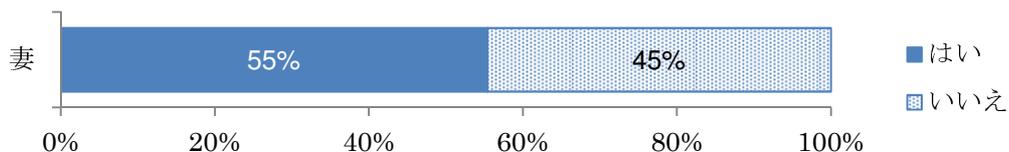
(3) パートナーにも不妊検査に行ってほしいと思っている意識

7割が夫にも不妊検査を受けてほしいと思っている一方で、5割の妻はそのことを夫に言いにくいと感じている。その要因として「パートナーの気分を損ねてしまわないか不安」であることが最も多かった。

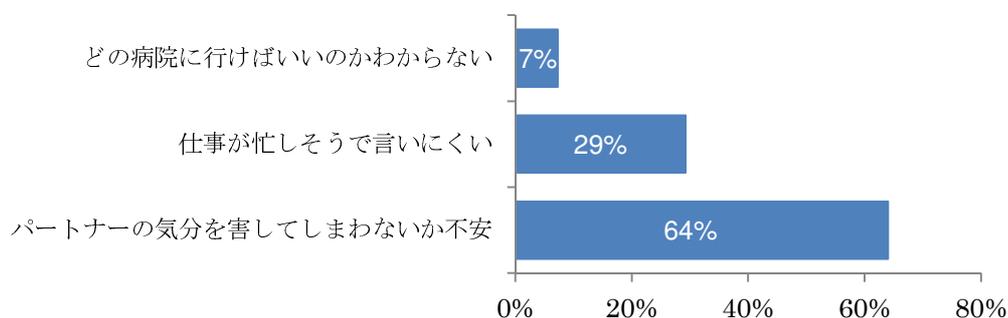
<表12：パートナーにも不妊検査に行ってほしいと思っている>



<表13：パートナーに不妊検査に行ってほしいとは言いにくい>



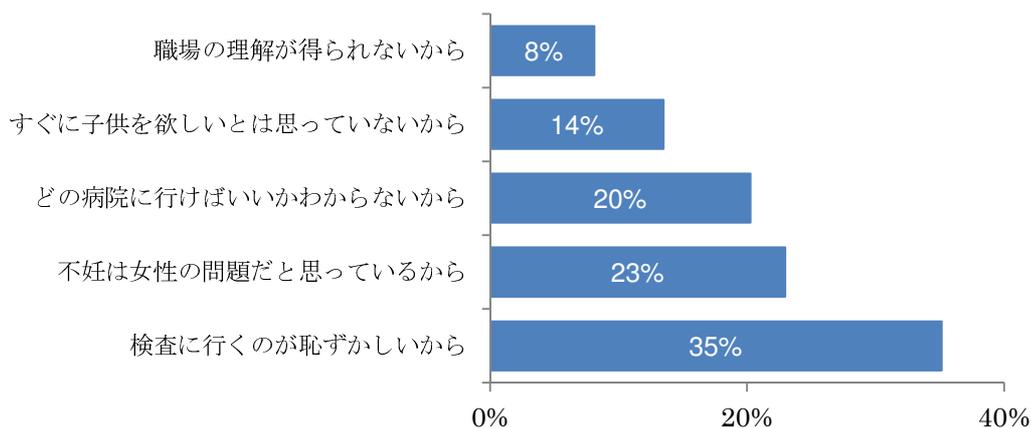
<表 1 4 : 検査に行ってほしいと言にくい理由として最も近いものは何ですか>



(4) パートナー（夫）が不妊検査を受けない理由

「検査を受けるのが恥ずかしいから」が最も多い意見となった。次いで「不妊は女性の問題と思っている」が多かった。

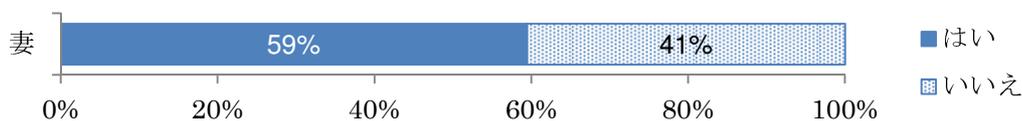
<表 1 5 : パートナーが不妊検査をしていないのはなぜだと思いますか（複数回答）>



(5) 助成制度の認知度

知っている割合は 6 割程度。この層は「夫婦そろって受診すること」が助成の要件と知りながらも夫が検査を受診していない層となる。

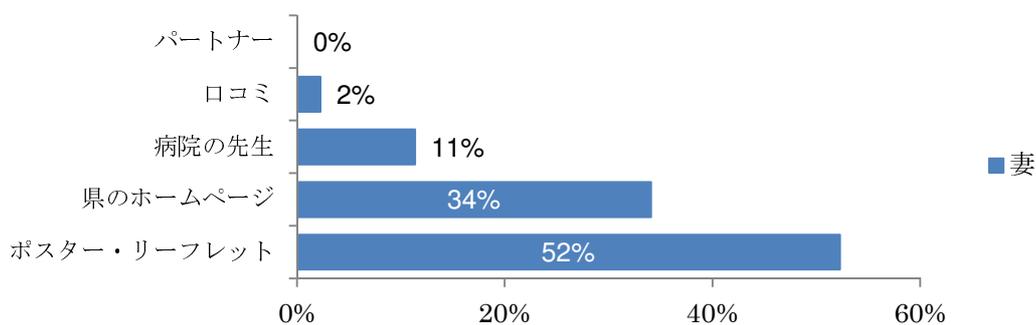
<表 1 6 : 助成制度があることを知っている>



(6) 助成制度を知った媒体について

「ポスター・リーフレット」が回答数としては最も多く、次点で「県のホームページ」となった。ポスター・リーフレットは医療機関の掲示物を見た可能性が高い。

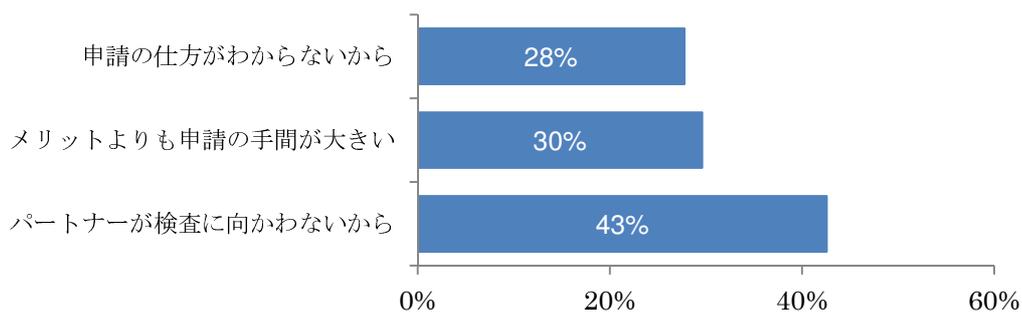
<表 17 : 助成制度をどこで知りましたか>



(7) 助成制度を活用していない理由

「パートナーが検査に向かわないから」が最も多い理由となった。次いで「メリットよりも申請の手間が大きい」、「申請の仕方が分からない」がほぼ同数となり、申請の手順が複雑と感じている層がいることが分かる。

<表 18 : 助成制度を活用していない理由は何ですか (複数回答)>



(8) 妊活・不妊治療についての意識

「周りに相談できる人がいない」「職場のサポート」が同数で最多となった。

<表 19 : 妊活・不妊治療で特に共感するフレーズを教えてください>

